

## 1. 国連・危険物の輸送に関する勧告によるラベル類

国連の危険物輸送専門家委員会における「国連・危険物の輸送に関する勧告」では、危険物を9種のクラスに分類し、必要に応じクラスの中に区分(Division)を設けています。ラベルにはクラス・区分及びシンボルマークが表示されています。

この表示は、国際海事機関、国際民間航空機関及び我が国の船舶安全法、航空法などに広く採用されています。

### 1.1 危険物の分類

危険物を9のクラスに分類し、クラスの中に区分(Division)を設けている。各区分にシンボルマークが対応している。

#### クラス1：爆発物

- 区分 1.1 一斉爆発の危険性を有する物質及び物品
- 区分 1.2 飛散危険性を有するが一斉爆発の危険性のない物質及び物品
- 区分 1.3 火災の危険性及び小規模な爆発性又は小規模な飛散危険性を持つ、あるいは両方の危険性を持つが、一斉爆発の危険性はない物質及び物品
- 区分 1.4 重大な危険性を示さない物質及び物品
- 区分 1.5 一斉爆発の危険性を有するが非常に鈍感な物品
- 区分 1.6 一斉爆発の危険性を有しない極端に鈍感な物品

#### クラス2：ガス類

- 区分 2.1 引火性ガス
- 区分 2.2 非引火性、非毒性ガス
- 区分 2.3 毒性ガス

#### クラス3：引火性液体

#### クラス4：可燃性固体、自然発火性物質、禁水性物質

- 区分 4.1 可燃性固体、自己反応性物質
- 区分 4.2 自然発火性物質
- 区分 4.3 禁水性物質

#### クラス5：酸化性物質及び有機過酸化物

- 区分 5.1 酸化性物質
- 区分 5.2 有機過酸化物

#### クラス6：毒物及び感染性物質

- 区分 6.1 毒物
- 区分 6.2 感染性物質

#### クラス7：放射性物質

#### クラス8：腐食性物質

#### クラス9：その他の危険物質及び物品

国連番号及び品名（物質名称）

品名数は約2千5百で、単一物質名と総称名（包括品名）がある。物質毎に4桁の国連番号が付されている。

容器等級

物質の危険性の高低により、使用する容器は3種類に分類されている。

容器等級：高い危険性を示す物質

容器等級：中程度の危険性を示す物質

容器等級：低い危険性を示す物質

## 1.2 包装容器の標記

包装容器の種類は形態より次のように分類され、番号が付されている。

- 1 ドラム
- 2 木樽
- 3 ジェリカン
- 4 箱
- 5 袋
- 6 複合容器
- 7 圧力容器

包装容器の材料の種類は下記のように英字で示されている。

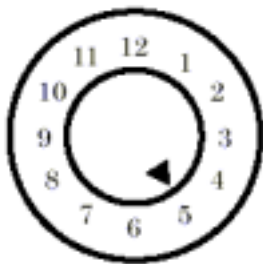
- A 鋼（全種類及び表面処理したもの）
- B アルミニウム
- C 天然木材
- D 合板
- F 再生木材
- G ファイバ板
- H プラスチック
- L 織布
- M 紙、多層
- N 金属（鋼又はアルミニウム以外のもの）
- P ガラス、磁器

### 検査済包装容器の表示

- X : 容器等級、及び に使用
- Y : 容器等級、及び に使用
- Z : 容器等級 に使用

包装容器が作成された年を二桁の数字で示す。

プラスチック包装容器は下記のように製造月も表示する。



5月の製造を示す

### 包装容器の表示例



円の中に「un」 国連容器シンボルを示す。

4 G          ファイバ板製箱

Y 1 4 5      容器等級 又は      最大 1 4 5 k g

S              固体を輸送する容器又は内部容器を示す。

8 3            1 9 8 3 年製造

N L            オランダ (製造国名)

V L 8 2 3     製造会社を示す

## 国連危険物輸送勧告に基づくラベル

### クラス 1 爆発物 (Explosives)



- 区分 1.1 一斉爆発の危険性を有する物質及び物品
- 区分 1.2 飛散危険性を有するが一斉爆発の危険性のない物質及び物品
- 区分 1.3 火災の危険性及び小規模な爆発性又は小規模な飛散危険性を持つ、あるいは両方の危険性を持つが、一斉爆発の危険性はない物質及び物品

区分 1.1、区分 1.2 及び区分 1.3

シンボル (爆弾): 黒、背景: オレンジ、数字「1」は底部の角

\* \* : 区分(1.1,1.2 及び 1.3)を書く

\* : 爆発物を隔離区分の点から 1 3 のグループ(compatibility group)に分類  
(注)



- 区分 1.4 重大な危険性を示さない物質及び物品

区分 1.4



区分 1.5 一斉爆発の危険性を有するが非常に鈍感な物品

区分 1.5



区分 1.6 一斉爆発の危険性を有しない極端に鈍感な物品

区分 1.6

区分 1.4, 区分 1.5, 区分 1.6

背景：オレンジ、数字：黒、数字は高さ 30mm で 5mm の太さ（100mm × 100mm のラベルに対して）、数字「1」は底部の角

\* ：爆発物を隔離区分の点から 1 3 のグループ(compatibility group)に分類（注）

（注）\* 爆発物を起爆薬(隔離区分 A)；爆発物と黄リンを含有する物品(H)；爆発物と毒性化学物質を含有する物品(K)のように 1 3 グループ（A～H, J～L, N, S）に分類する

但しその詳細は

<http://lib1.nippon-foundation.or.jp/1999/0093/contents/155.htm>

を参照のこと

## クラス2 ガス類 (Gases)



### 区分 2.1 引火性ガス

シンボル (炎): 黒又は白、背景: 赤、数字「2」は底部の角



### 区分 2.2 非引火性、非毒性ガス

シンボル (ガス容器): 黒又は白、背景: 緑、数字「2」は底部の角



### 区分 2.3 毒性ガス

シンボル (ドクロと交差骨): 黒、背景: 白、数字「2」は底部の角

### クラス3 引火性液体 ( Flammable Liquids )



シンボル ( 炎 ): 黒又は白、背景 : 赤、数字「 3 」は底部の角

### クラス4 可燃性固体、自然発火性物質及び禁水性物質 ( Flammable solids; substances liable to spontaneous combustion; substances which, on contact with water, emit flammable gases )



#### 区分 4.1 可燃性固体

シンボル ( 炎 ): 黒、背景 : 白で7本の赤い垂直ストライプ、数字「 4 」は底部の角



#### 区分 4.2 自然発火性物質

シンボル ( 炎 ): 黒、背景 : 上半分白、下半分赤、数字「 4 」は底部の角



区分 4.3 禁水性物質

シンボル ( 炎 ): 青又は白、背景 : 青、数字「 4 」は底部の角

クラス 5 酸化性物質及び有機過酸化物 ( Oxidizing substances and organic peroxides )



区分 5.1 酸化性物質

区分 5.2 有機過酸化物

シンボル ( 円の上に炎 ): 黒、背景 : 黄色、数字「 5.1 」「 5.2 」は底部の角

クラス 6 毒物及び感染性物質 ( Toxic and infectious substances )



区分 6.1 毒物

シンボル ( ドクロ及び交差骨 ): 黒、背景 : 白、数字「 6 」は底部の角





#### 区分 6.2 感染性物質

ラベルの下半分に「感染性物質」及び「損傷又は漏洩の場合、直ちに保健機関に連絡すること」の表示をしてもよい。

シンボル(一つの円に重ねあった三日月): 黒、背景: 白、数字「6」は底部の角

#### クラス 7 放射性物質 (Radioactive material)

略す

クラス 8 腐食性物質 ( Corrosive substances )



シンボル ( 2 個の試験管から液体が金属と手にこぼれている ): 黒  
背景 : 上半分は白、下半分は白い境界のある黒  
数字の「 8 」は底部の角

クラス 9 その他の危険物 ( Miscellaneous dangerous substances and articles )



シンボル ( 上半分に 7 本の垂直ストライプ ): 黒  
背景 : 白  
数字「 9 」は底部の角